

2015年12月4日

萩ジオパーク推協だより

No. 7

〒758-8555 山口県萩市大字江向510

TEL: 0838-21-7765

e-mail: hg-geo@city.hagi.lg.jp

HP: <http://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/12>

発行: 萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

見島地域でジオ学習会が開催されました 講師: 永尾隆志先生

11月6日(金)に見島公民館で、永尾隆志先生を講師に迎え、「不思議いっばいの火山ー見島」と題し、見島の大地の成り立ちを学ぶ学習会が開催されました。

見島は、萩の北北西約45km沖にある離島ですが、日本列島がアジア大陸から分かれ、現在の位置に移動した後のごく早い時期に活動した火山です。周囲約24km、面積約7.74km²ですが、周辺の海底には何十倍もの広さの溶岩台地が広がっており、現在の見島の姿は、その最も高い部分が海面上に現れたものです。

見島では、先ず、約1200万年前にあった大規模な割れ目噴火で溶岩台地が形成されました。その大部分は、現在、海面下にあります。さらに、島の各所でマグマのしぶきを噴き上げるストロンボリ式噴火や、マグマが地下水と触れて大爆発を起こす水蒸気マグマ噴火が起きました。こうしてできたスコリア丘や火砕丘は、その後、割れ目から洪水のようにあふれ出たマグマで埋めつくされ、現在、見島の地表の大半を占める溶岩台地が作られました。ここまでの活動で見られたのは玄武岩マグマでした。最後に、約820万年前安山岩マグマが割れ目を伝わって上昇し、一部は地表に流れ出しました。

学習会では、こうした一連の火山活動を物語る火山弾や火山灰層、溶岩大地に埋もれたスコリア丘や火砕丘などのみどころが、実は慣れ親しんだふるさとの風景の中にあることの紹介もあり、参加された方々は熱心に聴講されていました。



(公民館で島のでき方の学習)



(現地で実物を観察しながらの説明)

萩東中学校「公開講座」ー萩の火山は不思議がいっぱいー 11/29(日)

萩東中学校での公開講座は、地域住民や保護者の方々を対象に開催されており、今年で3回目になります。各種講座の中に、毎年「萩の火山は不思議がいっぱい」という一講座を設け、萩の火山やジオパークなどをテーマに話をしています。今年は「絵巻物に見る萩の火山」と題して、14人の皆さんにご参加いただきました。

幕末期に描かれた毛利博物館所蔵の絵巻物『萩両大川辺・奈古屋島辺之図』には、鶴江台や中ノ台・狐島・笠山などの火山(溶岩台地)が精細に描かれています。スライドを使って、幕末期の絵画描写と現況の写真とを比べることにより、火山地形の変化の様子や植生の移り変わりなどを解説しました。また、各溶岩台地の噴火の仕方、溶岩台地から切り出された石材についても話が及びました。

最後に、コーラ飲料を使ったストロンボリ式噴火、歯科用印象材やゼラチンとラー油を使った割れ目噴火の実験を行いました。予定の時間を大幅に超過してしまいましたが、参加された皆さんは、最後まで熱心に楽しく聴講していただきました。当日の講師は、伊藤靖子推進室室次長、樋口尚樹推進協議会支援助員、藤田尚子萩東中学校教諭が務めました。



(絵巻物に描かれた台地と今を比較)



(割れ目噴火を確かめるモデル実験)

学校を舞台に、子どもも大人も ジオパーク について学ぶ

萩ジオパーク構想における大地の遺産の見どころを有する地域の学校を中心に、ジオパークに関する学習が行われ、市推進室および推進協議会からお手伝いに出かけています。

越ヶ浜小学校では、4年生の総合的な学習での取組のほか、11月5日には6年生が理科の授業の一環で「火山としての笠山」を、現地での見学を通して学習しました。それを踏まえ、16日には交流授業で大井小学校の6年生と一緒に、歯科用印象材を用いた実験を含め、萩の火山について学びました。

須佐中学校では8月に続き、11月7日に開催された学校開放講座で、萩ジオパーク構想についての理解を深めました。同日、見島では小中学生全員が参加した「見島ウォーク」が開催されました。島の見どころの1つ「観音崎」では、上級生と下級生に分かれ、火山弾や火山礫などを見て、噴火の証拠を確認しました。

このほか、越ヶ浜中学校文化祭や、越ヶ浜小学校や弥富小学校の校内学習発表会などで、児童・生徒が学習の成果を他の児童・生徒や保護者、地域の方たちに対して発表しています。

(写真提供：萩市立見島小中学校)

【情報提供のお願い】 各地域における萩ジオパーク構想についての発表等の取組をご覧になった場合には、是非、感想をお寄せください。



(ダイナミックな島のでき方を学習)



(自分の立つ島の大地の学び)

ジオサイト・笠山と指月山で動植物観察会 11/15(日) 山口生物学会

山口生物学会が主催する動植物観察会が、萩市笠山と指月山で開催されました。植物や動物に関心をもつ会員やその家族の皆さんが参加しました。当日は、一般の方も含めて16名の参加者があり、とてもなごやかで活気のある観察会になりました。特に今回の観察会は、萩ジオパークとジオサイトの解説があり、講師を生物学会会員でもある伊藤靖子推進室室次長と増野和幸支援員の二人が務めました。大地の上で営まれている動植物の生態について、参加者から積極的な質問が出るなど有意義な企画でした。笠山にできた風穴に生息するクモ(蜘蛛)の話もあり、萩ジオサイトの不思議さや豊かさを学ぶよい機会になりました。

(写真提供：県立山口博物館 田中 浩 先生)



(溶岩の上に生育する海浜性植物の解説)



(原生的な林をつくる指月山の頂上に登る参加者)



(指月山で最初に発見された陸貝・リシケオトメマイマイ)

12月の予定

○「ジオパークとは？」総合的な学習 12月1日(火) 13:30~14:30
越ヶ浜中学校、対象：全校生徒・教職員・保護者・一般

○ジオパーク講座 特別編「ジオパークを体験しよう」

Mine秋吉台ジオ フェスティバル 12月5日(土) 13:00~16:30、場所：秋吉台国際芸術村ホール
主催：美祢市、一般財団法人自治総合センター

○萩観光セミナー・ボランティアガイド講座 12月10日(木) 13:30~16:50、場所：萩博物館・萩城下町、
内容：カリスマガイドに学ぶ感動と共感のガイド~世界遺産・ジオパーク・大河ドラマを中心に~ (講義・現地研修)
講師：東川隆太郎 (NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事)

12月14日(月) 13:30~15:00 ジオパークについて (講義) 場所：萩博物館 12月15日(火) 13:30~15:00 笠山での現地研修 講師(両日とも)：伊藤靖子(推進室室次長) 主催：萩おもてなし推進協議会